

北半球のゼスプリキウイは増収の見込み

EUROFRUIT 2023年10月2日

キウイフルーツ販売事業者のゼスプリはサンゴールドの拡大に牽引された北半球の記録的な収穫量を期待

北半球のゼスプリキウイフルーツの収穫量は、前年の販売量を上回ると見られ、これは主要市場へ周年供給し、ブランドの存在感と店舗の棚を維持し、ニュージーランドと国外の生産者の収入を支援する同社の取り組みを支えるものとなる。

ゼスプリの北半球担当執行役員であるニック・カートン氏は、北半球の販売計画はちょうど実行に移ったところで、ゼスプリは約2,900万箱、すなわち10万トン強のキウイフルーツをフランス、イタリア、ギリシャ、韓国、日本の果樹園から出荷し、販売する予定であると述べた。昨シーズンは2,400万箱、8万8千トンを出荷した。

同氏は、「今シーズンの収穫量はこれまでで最大で、ニュージーランド産の果実から北半球産に移行するに当たって、一層高品質で味の良いキウイフルーツを消費者に提供したい」と述べた。(以下「」は同氏の発言)

「販売量の増加は、我々の現在の成長段階を反映しており、年間を通じたブランドへの投資と、供給に先立っての需要の構築によって可能となった。」

ゼスプリは、プレミアムなゼスプリキウイフルーツを周年供給するという究極の目標に向けて世界供給戦略に取り組んでおり、そこで重要な役割を果たす北半球のイタリア、フランス、ギリシャ、日本、韓国の産地で、合わせて約1,500の契約生産者及び供給事業者と20年以上にわたってパートナーシップを結んでいる。

今シーズンのグリーンキウイの販売量は昨年と同程度と予想される一方、サンゴールドキウイフルーツは栽培条件の改善、収量の増加及び新しい園地からの出荷を反映して25%増加すると予測される。

同氏は、昨年ヨーロッパとアジアの両方の生産者が直面した課題を踏まえると、今シーズンの好調な収穫は一層喜ばしいものだと述べた。同氏はまた、昨シーズンの総括の後、その問題点に対処し、生産者の収益を向上させる収穫量に焦点を当てるため、ゼスプリは北半球のすべての地域で行動計画を開始したと述べた。それは、果樹園とサプライチェーンにおける改善や、生産者にとって最良の結果を達成するために販売チームと緊密に協力することなどであった。

「昨年はヨーロッパとアジアの生産者にとって特に厳しい年であった。極端な暑さと異常な天候が続き、果実のサイズ、収量、品質に影響を与えた。」

「今年、果樹園が回復し、弊社が顧客に提供することができる高品質の果実を生産者が出荷し、これが生産者の収益向上の一助となることを目の当たりにするのは素晴らしいことである。」

「弊社の北半球からの供給事業は拡大を続け、2030年までに出荷量が倍増することが期待されている。それにより、産地の産業にしっかりと収益をもたらし、成長する我々のコミュニティに積極的に貢献する。」

執筆者: リアム・オキャラハン